

フィリピンエネルギー省・電力会社 日本招聘

JICC は 2024 年 10 月 6 日から 11 日の期間に、フィリピンのエネルギー省及び原子力発電導入の調査・検討等を行っている電力会社関係者を日本に招聘した。

【経緯/目的】；

フィリピンは 2023 年 11 月に米国と原子力平和利用の覚書を締結し、また 2024 年 4 月に行われた日・米・比首脳会談後の共同声明では「民生用原子力を含むクリーンエネルギー分野における連携強化」が発表されている。そのような背景の中、フィリピンの原子力関係者を日本に招聘し、日本の原子力発電の現状と原子力産業界の動向の理解を深めていただく。

【結果】；

- ① 再稼働に向け準備工事を進めている日本原子力発電東海第二原発及び東海総合研修センター、東日本大震災の災害からの復興と廃炉を進めている東京電力福島第一原発の視察、経済産業省資源エネルギー庁原子力政策課国際協力室との意見交換を行い、日本の原子力発電事業の現状を理解いただいた。
- ② 国際協力銀行（JBIC）、日本原子力発電本店 及び IHI・日揮グローバル（JGC）との意見交換、IHI 横浜工場の視察を行い、原子力産業界の動向の理解を深めていただいた。



日本原子力発電(株)東海第二原発テラパークにて



東電 HD 福島第一サイト：1～4号機を俯瞰できる高台にて
出典：東京電力ホールディングス株式会社



METI エネ庁原子力政策課国際協力室にて